

さかい 広報

sakai

7

JULY 2019
No.629

自らの命は
自ら守る



東京大学大学院
片田 敏孝 特任教授

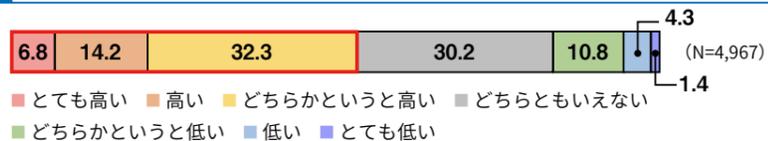
広 域 避 難

境町防災

【住民の水害意識に関するアンケート結果】

6,007 件配布し、5,053 件の回答
約 **84%** の高い解答率!!

問1 近い将来において、境町で利根川が氾濫するような洪水が発生する可能性は、どの程度であるとお考えですか。



住民の半数が、水害リスクが高いと認識しています。



問2 利根川が氾濫した場合、浸水し始めてから水がなくなるまでにどれくらいの時間がかかるとお考えですか。



9割の住民が、浸水が数日間（2日～1週間）継続すると認識しています。



問3 あなたやあなたのご家族はどこに避難しようと思えますか。（自宅以外に避難する場合、どの地域に避難しますか。）



町が浸水すると分かっているのに、6割の住民が避難先に町内を選んでいきます。



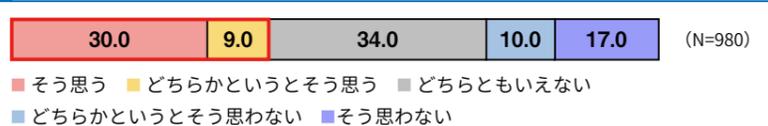
問4 仮に、町から「浸水の恐れがない地域（他市町村）への広域避難の呼びかけ」はあったものの、具体的な広域避難先が指定されなかった場合において、避難先として考えられる場所（頼れる場所）はありますか。



約75%の住民は、町外の避難先を確保できると回答。いち早い「広域避難」で安全に避難できます。



問5 遠方まで避難する手段がないため広域避難がためられる。



約4割の住民が、避難手段がないため広域避難をためらっています。



このアンケート結果をもとにシミュレーションすると・・・

約2,000人の住民が犠牲に!! 町では災害犠牲者「ゼロ」を目指します!!

アンケート結果に見る 住民のみなさんの危機意識

平成29年度に実施した「境町の洪水に関する住民意識調査」では、約84%という回答率の高さで、住民のみなさんの水害に対する関心の高さがうかがえます。その中で、利根川氾濫の可能性がある場合、避難勧告で自宅外へ避難する方が約30%、自宅以外に避難する場合の避難先に町内と回答した方が約60%と、町外への「広域避難」の必要性が十分に伝わっていないことが判明しました。

その反面、町外へ避難しなければならぬ場合、頼れる場所が確保できると回答した方が実に75%もいました。このように、相反する回答のギャップを、正確な情報提供により埋めることができれば、効果的な広域避難が可能となります。

境町は標高差が少なく概ね平坦な地形で、西低東高であるため、安全を確保できる避難方向としては、「古河市（旧三和）方向」と「坂東市（旧猿島）方向」になります。

実際に町外へ広域避難するには、第一に町外で浸水の恐れのない地域の親戚・知人・宿泊施設等自らの避難先を事前に確保しておくことが重要です。また、広域避難先を確保できない方々のために、町では、平成28年度に坂東総合高校と、平成29年度に総和工業高校と覚書を締結し、指定広域避難所として確保しています。

特集

逃げ遅れによる犠牲者「ゼロ」を目指して

境町の防災

自らの命は自ら守る

広域避難



平成27年の関東・東北豪雨や平成30年の西日本豪雨など、近年、日本国内では、毎年のように大規模水害が発生しており、いつどこで発生してもおかしくない状況です。災害時に命を守るためには「自らの命は自ら守る」行動と、適切な「広域避難」が何よりも大切です。



命を守るため

「自らの意思」で自主的に「広域避難」することが大切

町では、平成27年の関東・東北豪雨災害において、内水氾濫により町内全域に甚大な被害がもたらされ、1名の尊い命が奪われました。

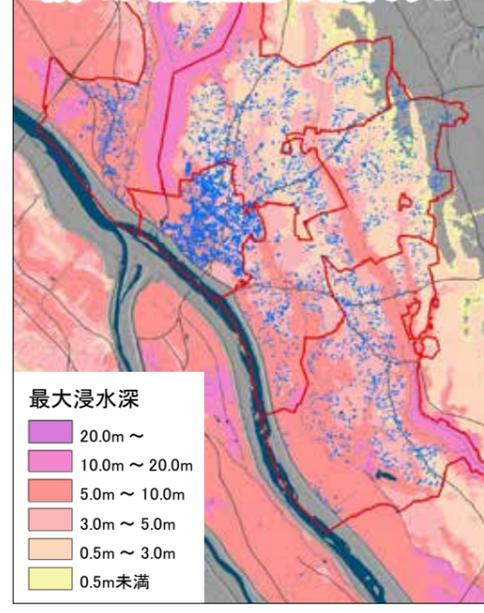
もし利根川が氾濫した場合、町の9割以上が浸水し、何の対策も講じなかった場合、浸水地域内に約2,000人の住民が要救助者として取り残され、この水害以上の大規模な被害が発生するというシミュレーション結果が出ています。

しかし、町外への「広域避難」を効果的に実施する事によって、浸水地域内の要救助者の数をゼロにできるという想定結果も出ており、町では、住民の命を守るために「広域避難」対策を喫緊の課題

【利根川水系洪水浸水想定区域図】※想定最大規模

住民アンケートをもとに行ったシミュレーションでは、利根川が決壊した場合、町の約9割が浸水し、約2,000人の住民が犠牲になるという結果が出ています。

被害者をゼロにするためには、町外への「広域避難」が必要です!!



として取り組み、ハード・ソフト両面にわたり、対策を進めてきました。

その成果のひとつとして、利根川が氾濫しそうな時、「いつ、どこに逃げたらいいのか」地区ごとの避難のタイミング、避難場所などを分かりやすく一つにまとめた「逃げどきマップ」が完成し、全戸に配布しました。「逃げどきマップ」では、「自らの命は自ら守る」ことを最も重要なポイントと定め、危険が迫る前に「自らの意思」で自主的に「広域避難」することを推奨しています。

また、これからの季節はゲリラ豪雨などの危険性が高まり、川が増水しやすい出水期を迎えます。いざという時に備えて、家族や近所の皆さんと一緒に、避難場所や避難経路などの事前確認をお願いいたします。

命を守るために大切な心構え
まずは「我が事」と考える

まさか、自分の身には起こらない。と考えてしまいがちな災害のこと。まずは、「我が事」と考えましょう。その上で、「まさかの出来事」のときの行動を、具体的にイメージしてみよう。それが、あなただけでなく、「あなたの家族や大切な人」の命を守る第一歩になります。

利根川や渡良瀬川で氾濫のおそれが高まったとき、自宅や町内にとどまるのは危険です。早めに町外へ広域避難しましょう。いざというとき迅速に避難できるように、「逃げどきマップ」で避難先や避難経路を確認しておきましょう。

災害のおそれが高まった場合、自治体やメディアから様々な情報が発信されます。その情報から、避難行動などを決断できるのはあなただけです。必要な情報の種類と収集方法を確認しましょう。

災害時は、自分は大丈夫と思ってしまふものです。いざというときに、ひとりでは避難行動を決断できないことを前提に、家族や隣近所、地域で、声かけなどの「みんなで逃げるルール」を考えておきましょう。



境町防災アドバイザー・
 東京大学大学院
 片田 敏孝 特任教授

先進地視察を実施
全住民の4人に1人が参加する
防災訓練（新潟県見附市）



担架での搬送訓練に参加した行政区長の皆さん



訓練を視察する消防団の皆さん



バケツリレーによる消火訓練



消火器による消火訓練



負傷者の救助訓練の様子



境町でも関東・東北豪雨以上の水害がいつ起きてもおかしくありません。
 境町区長会長
 稲垣 稔さん

見附市では住民一体となった防災訓練を続けており「自助・共助・公助」を考える良い機会となりました。10月26日に予定されている境・古河・五霞・茨城県総合防災訓練に今回の視察研修の経験を生かしていきたいと思っております。



6月9日、新潟県見附市において、全住民の4人に1人が参加する「全市総合防災訓練」が開催され、境町区長会長、境町議会、境町消防団及び町職員が参加し、視察研修を行いました。

地区による自主防災組織活動訓練では、区長さんが災害による負傷者役となり、担架での搬送訓練を実施するなど実際の取り組みに参加しました。

また、総合防災訓練会場である今町中学校では、中学生が地域住民とともに行ったバケツリレーによる初期消火訓練などを視察し「住民一人一人の防災意識の高さ」を感じる研修となりました。

令和元年10月26日開催
「茨城県・古河市・五霞町・境町総合防災訓練」のお知らせ

町では、平成29年から町の抱える最大リスクである利根川の氾濫に備えるため、各地区を対象とした防災訓練を行っています。

今年度からは、2か年にわたる「広域避難プロジェクト」事業（防災アドバイザー・東京大学大学院片田特任教授）の成果を踏まえ、「逃げどきマップ」も完成したことから、町として初となる全町挙げての「広域避難訓練」を実施します。

今回は、茨城県・古河市・五霞町と同一想定による総合訓練で、「台風が接近する中、震度6強の地震が発生し、堤防に亀裂が発見されたことから直ちに全住民が避難しなければならない状況下」を想定して、一部の住民の皆さんは、各小学校からバス、自衛隊車両等で実際に町外へ広域避難する訓練を実施する予定です。

令和元年を新たな防災元年とし、今後毎年、境町広域避難訓練として実施する予定です。是非ご参加下さい。



実施イメージ（平成29年度境地区での防災訓練の様子）

特集

誰一人取りこぼさないために町ができること
境町の防災の取り組み

町では、平成27年9月に発生した「関東・東北豪雨災害」を教訓に、防災に関する様々な取り組みを防災施設や設備の整備などのハード面と、広域避難に関する協定や防災訓練などのソフト面のそれぞれで進めてきました。町が取り組んできた取り組みを紹介します。

【ハード面の整備】

平成27年度～ 「河川防災ステーション」整備を国へ要望	平成27年8・9月 町内各所に「土壌ステーション」を増設	平成28年4月 全小学校に「防災倉庫・災害用トイレ」を設置	平成29年度 屋上に避難場所を備えた定住促進住宅を整備	平成28・29年度 水素カーを導入（災害時は電源として活用）
平成30年7月 全国初となる「水害避難タワー」を整備	平成30年6月 「コンテナハウス」を災害用に導入	平成29年度～32年度 「雨水排水計画」策定・バイパス管整備開始	平成29年度～平成34年度 「染谷川冠水対策計画」策定・調整池を整備予定	防災に関する様々な取り組みを行っています

【ソフト面の整備】

平成26年6月 茨城県建設業協会と「災害時相互応援協定」締結	平成28年6月 坂東総合高校と「広域町外避難所覚書」を締結	平成28年12月 坂東総合高校と「合同避難訓練」を実施	平成29年10月 総和工業高校と「広域町外避難所覚書」を締結	平成29年度 「広域避難共同調査研究事業」実施
平成26年度 利根川決壊時の「想定浸水深掲示板」を設置	平成29年～ 「防災アプリ」の開発・実証実験を開始	平成30年6月～ 防災アプリ「Sakainfo」導入開始	平成31年度～ 「防災行政無線のデジタル化」及び増設開始	平成31年度 「逃げどきマップ」作成及び全戸配布
平成29年10月 東京大学片田教授「防災講演会」を実施	平成29年10月 「境地区総合防災訓練」を実施	平成30年度 東京大学片田教授「中学生向け防災講演会」を実施	平成29・30年度 東京大学片田教授「広域避難プロジェクト」を実施	令和元年10月 「境町総合防災訓練（広域避難訓練）」実施予定

地域の安心・安全に役立てたい



藍綬褒章受章 (令和元年)

境町消防団
加藤 正則 団長

私たち消防団員は、一致団結し、町民の生命・身体・財産を守るという使命を持って活動しております。

消防活動をはじめ、大規模災害の対応や地域に密着した予防活動、行方不明者の捜索など幅広い分野で活動しております。これらの活動は、地域住民はもちろん、家族のサポートがあるからこそ、消防団が機能しているものだと実感しております。

これからも「自分たちの地域は、自分たちで守る」という理念に基づき、地域の安心・安全に役立てていきたいと考えておりますので、引き続き、町民の皆様におかれましては、より一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

地域の防災力を高める!!

災害に対する取り組みは、日ごころからの十分な準備や不断の備えが何よりも重要です。町では、地域の安心安全を支える消防団の支援として、新型消防車両を配備するなど地域防災力の強化に努めています。

新たな車庫で
今後も消防活動を
頑張ります

境町消防団
第1分団
小林 隼介 分団長

新たな消防車両が第1分団に配備され、大変嬉しく感じています。新車両の操作方法などしっかり勉強して、これからも町のために初期消火を迅速に出来るよう頑張っていきたいと思っております。

第一分団(境地区)に新型消防ポンプ車を配備

境町では、東日本大震災や関東・東北豪雨災害などの教訓から自然災害の対応、災害時の相互支援、迅速な救助活動など、消防団の強化と救助資機材の確保・整備に努めています。

今回、第一分団が保有する消防車が購入から25年を過ぎ、老朽化したことから、消防団からの要請を受け、新型の「水槽付消防ポンプ自動車」を購入し、6月27日に納車式を行いました。

橋本町長は、「同地区内の西南広域消防本部の支援に率先して活用し、住民の安心安全につながる消防団体制を築いてほしい」と述べ、加藤消防団長は「第一分団の担当区域は住宅が密集しており、火災・災害に備えていきたい」と述べました。配備された車両は、火災・災害時の消火・救助活動に活用されます。



新型消防車は、水槽タンク 1,500ℓの容量を有しており、ポンプは軽いオールアルミ製で毎分 2,600ℓ放水できる機能を持ちます。

消防団員大募集!

あなたの地域を守る気持ちを感じてみませんか! 現在消防団員を大募集しています。興味がある方は、下記の問合せ先までご連絡ください。

問 | 境町役場 防災安全課
☎ 0280-81-1308



怪我の無いよう
訓練に励んで
いきます

境町消防団
第3分団
染谷 達也 分団長

選手はもちろん、選手以外の団員もサポートや環境づくりなど、全員で力を合わせて、訓練に励んでいます。大会に向けて、悔いの残らないよう上位入賞を目指して頑張ります。

水害 Q & A



Q もし大雨で川が氾濫したら境町はどうなっちゃうの?



A 町の約90%が浸水し、浸水は2週間程度続きます。利根川や渡良瀬川が上流域で氾濫したら、町の約90%が浸水し、避難しなくてはならない人は約95%になります。また、浸水は2週間程度続きます。

Q そんなにひどいことに! でもそんな大雨が起こる可能性は低いんじゃないの?



A 自分の地域だけは災害が起きないとは限りません。3年前に起きた「関東・東北豪雨」、昨年の「西日本豪雨」のような何百年に一度の大雨が、全国各地で毎年降っており、甚大な被害が起きています。自分の地域だけは災害が起きないとは限りません。日頃の備えが肝心です!

災害への備えが肝心です!

- ☑ 食料・飲料などの備蓄
- ☑ 非常用持ち出しバッグの準備
- ☑ 家族間での避難先・避難経路・連絡方法についての確認

Q 万が一、川が氾濫しそうになったらどうすればいいの?



A 自宅の2階では危険! 町外へ「広域避難」しましょう。浸水が始まる前にまず「逃げる」ことが必要です。もし利根川や渡良瀬川など、大きな河川の氾濫の恐れがある場合には、車の使用が出来る早い時期に、標高が高い地域や浸水の可能性が少ない町外へ「広域避難」しましょう。ひとりで避難が難しい方や交通手段がない方は事前に親戚や知人、近所の方々に相談をしておきましょう。

町内にとどまるのは危険です!

3階以上だから大丈夫と
思っていると...

↓

避難所も浸水し
2週間程度浸水が続く

↓

すぐに誰かが救助してくれるかと思っていると...

↓

浸水の中に13万人*
救助しきれない

※逃げどきマップより掲載

※境町、古河市、坂東市、加須市北川辺、板倉町の浸水人口の合計 (計画規模の場合) なお、想定最大規模では約16万人

Q 町外への「広域避難」はいつ始めればいいのか?



A 避難情報は防災行政無線や防災アプリを活用してください。避難が必要なとき、町は避難勧告等の避難情報を発表します。避難情報は防災行政無線や左記の防災アプリ等で受け取ることが出来ます。また、気象情報などに注意し「危ないかな」と感じたら、避難情報を待たずに自らの意思で避難しましょう。

防災アプリを活用
「Sakaiinfo (さかいんぷお)」

町が提供する無料の防災アプリ「Sakaiinfo (さかいんぷお)」は、登録地区ごとに災害情報をプッシュ通知で届けます。また、安否確認や救助要請を画面上で簡単に報告できます。みんなで防災アプリをインストールして「災害被害ゼロ」を目指しましょう。

無料アプリのダウンロードはこちらから!

iOS Android

※「Sakaiinfo (さかいんぷお)」のシステム改修及び更新を行いました。App store、Google Play、上記のQRコードよりダウンロード又は更新をお願いします。境町HPにマニュアルを掲載していますので確認下さい。

第三分団(静地区)が操法大会に向けて訓練中



10月20日に行われる消防技術を競う「第70回茨城県消防ポンプ操法競技大会(県西地区大会)」において、第三分団が境町消防団の代表で出場します。大会に向けて、夜間や休日の早朝など限られた時間の中で訓練を積んでいます。大会の上位入賞を目指し頑張ってください。

放課後児童クラブが全小学校区に完成

長田小敷地内に
大型児童クラブを新たに建設！

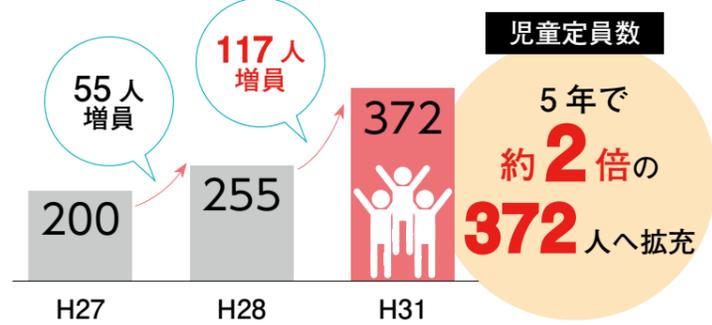
交流都市・アルゼンチンの
カミニートの街並みをイメージ！



アルゼンチン共和国派遣時の写真
(平成30年10月)



長田小敷地内に完成し、5月より運営がはじまった大型児童クラブ。建築面積266.64㎡(80.50坪)の木造平屋建てで、2クラブ・90人の児童が利用できます。アルゼンチンの街並みをイメージしたカラフルな外壁、天井高4.5mの開放的な室内空間で、安全・快適に放課後を過ごすことができます



小学生の子どもを持つ共働き家庭やひとり親家庭にとって、放課後に子どもが安全に過ごせる学童保育「放課後児童クラブ」は、なくてはならない存在です。今年度からは、児童たちの移動の負担を減らし、安心して放課後を過ごせるよう、新たに、長田小敷地内に大型児童クラブが整備され、町内5つすべての小学校区に放課後児童クラブを設置しています。

境町は、「子育て日本一」を目指し、安心して子育てできるまちづくりを推進します。

児童クラブ数と定員数を
5年間で約2倍に拡充

5年前、学区外の児童クラブを利用する小学校が2校。学区内に児童クラブがあったものの、境小学校では待機児童が多く発生し、長田小学校では、児童クラブまで徒歩で30分かけて移動していました。そのため、「児童クラブを整備してもらいたい」という要望が町へ多く寄せられていました。

そこで、平成27年度に境小学校の敷地内に定員90人の「にっこに児童クラブ」を開設。また、合同

新しい長田小児童クラブは
使ってみてどうですか？

部屋の中が白くてきれい！

友達をいっぱい作りたい！

宿題をかんまりたい！

校庭で自転車をやりたい

移動がなくなり安心

きれいな学童がうれしい

移動の心配が解消されました

建物内を探検したい

学童がもっと楽しみに

きれいな学童がうれしい

移動の心配が解消されました

学童がもっと楽しみに

●中山萌々花さん(3年生/長井戸)：室内が広くてよかったです。●美由紀さん：学校に隣接しているのでとても安心です。

●金子晶さん(3年生/長井戸)：放課後を利用して、校庭のうんていを練習したいです。

●橋本龍誠くん(2年生/西泉田)：学校の敷地内にあるから、遊具で遊べるのがうれしい。

●上野咲歩さん(4年生/栗山)：校庭で自転車をやりたい。●久美子さん：学校からすぐ児童クラブに移動でき、安心です。

●小島享介くん(2年生/西泉田)：きれいで好きになりました。●高崎杏夢さん(4年生/栗山)：これまでは学童が遠かったのが完成し、うれしいです。

●塚田真帆さん(6年生/住吉町)：新しい児童クラブは木の良い香りがします。

●麻生柚樹さん(5年生/西泉田)：天井が高く開放感を感じます。宿題を頑張ります。

●片見姫菜さん(1年生/西泉田)：きれいになり、行くのが楽しくなりました。●有紀さん：駐車場が近くにあるとうれしいです。

の児童クラブを利用していた、静小、長田小、猿島小の3校においては、平成29年度に静小学校内に、平成30年度には猿島小学校内に児童クラブを設置しました。

さらに、5月に長田小学校敷地内に定員90人の児童クラブが開設され、全小学校区内に児童クラブの設置が完了しました。

今回の全小学校への児童クラブの設置により、平成27年度では200人だった児童定員数を平成31年度には約2倍となる372人へと拡充しました。長田小学校の児童からは「移動時間がなくなり勉強時間が増えた」、ご家族からは「学校敷地内だから安心できる、送迎ストレスが減った」といった声をいただいています。



児童クラブ数

5年で
5→10
クラブ へ
増！

全小学校区に
児童クラブを設置

境小



敷地内に児童クラブを設置

猿島小



学校内余裕教室を改修

静小



学校内余裕教室を改修

森戸小



はなぶさ児童クラブ

児童クラブで
働きませんか？

各公立児童クラブで働く支援員及び補助員を募集しています。子ども達に囲まれた笑顔の職場です。年齢制限はありません。詳しくは境町ホームページをご覧ください。



園境町役場 総務課
☎0280-81-1300



学習や休憩にご利用ください

町のCOOLスポット

期間限定学習室開放

境の避暑スポット

無料 中学生以上の学生に無料開放します
境町の議場で勉強しよう!



議会事務局では「議場での学びを通して、議会を身近に感じるきっかけづくり」を提案します。そこで、昨年に引き続き、7月22日からの夏季限定で、町議会の議場を中学生以上の学生に無料開放します。受験勉強等がんばっている学生の皆さん、自習室としてぜひご利用ください。

「**議場という
厳かな雰囲気
が魅力です。**」

「**図書館よりも
静か集中して
勉強できます。**」



- 期 間 令和元年7月22日(月)～8月23日(金)
※土曜日、日曜日、祝日及びお盆期間(13日～16日)は除く。
- ※期間中においても臨時議会等により利用できない場合があります。
- 時 間 9:00～17:00
- 場 所 境町391-1(役場5階議場)
- 対 象 中学生以上の学生(町内外は問いません)
- 受 付 役場5階議会事務局で受け付けます。
- 席 数 35席

問合せ 境町議会事務局 ☎0280-81-1316



無料 手続きの待ち時間に
**境町役場
キッズスペース**

土日祝も利用できる、キッズスペース。役場の手続きの待ち時間やお子様との休憩にご利用ください。

- 時 間 平日8:30～17:15
土日祝9:00～17:00
※年末年始は利用できません。
- 住 所 境町391-1(役場1階)

問合せ ☎0280-81-1300



無料 宿題や自主学習に
**境町伏木文化
センター図書室**

どなたでも利用できるフリースペースです。学習スペースとしてお使いください。

- 時 間 9:00～17:00
- 休館日 月曜日、年末年始
- 住 所 境町伏木1315

問合せ ☎0280-87-5811



無料 外遊びの休憩時に
**文化村公民館
1階ロビー**

1階のロビー内に団らんでできるスペースや学習できる机などもあります。屋外施設ご利用の休憩所としてもご利用ください。

- 時 間 9:00～17:00
- 休館日 月曜日、年末年始(月曜祝日の場合は翌日が休館日)
- 住 所 境町上小橋540

問合せ ☎0280-87-0498



無料 プールも屋内で!
**猿島コミュニティセンター
温水プール**

● 時 間 9:00～20:30(受付19:30まで) ※日祝は17:00まで(受付16:00まで)

- 休館日 月曜日・年末年始(月曜祝日の場合は翌日が休館日)
- 料 金 (1回) 高校生以上200円
小・中学生100円
未就学児 無料
- 住 所 境町長井戸1732

問合せ ☎0280-87-7223



無料 安全に涼しく遊ぶ
**境町親子ふれあい館
(キッズハウスさかい)**

乳幼児期の遊び場・コミュニティの場として親子で楽しめる施設です。

- 時 間 9:00～17:00
- 休館日 月曜日、年末年始
- 対 象 3歳未満のお子さんとその保護者 ※兄弟で利用の場合は就学前まで。
- 住 所 境町38-1

問合せ ☎0280-81-1222



無料 Wi-Fi
**境町中央
公民館図書室**

どなたでも利用できます。一般図書と児童図書コーナーがあります。図書室の一部の場所で無料Wi-Fiがご利用いただけます。

- 時 間 9:00～19:00
- 休館日 月曜日・年末年始(月曜祝日の場合は翌日が休館日)
- 住 所 境町395-1

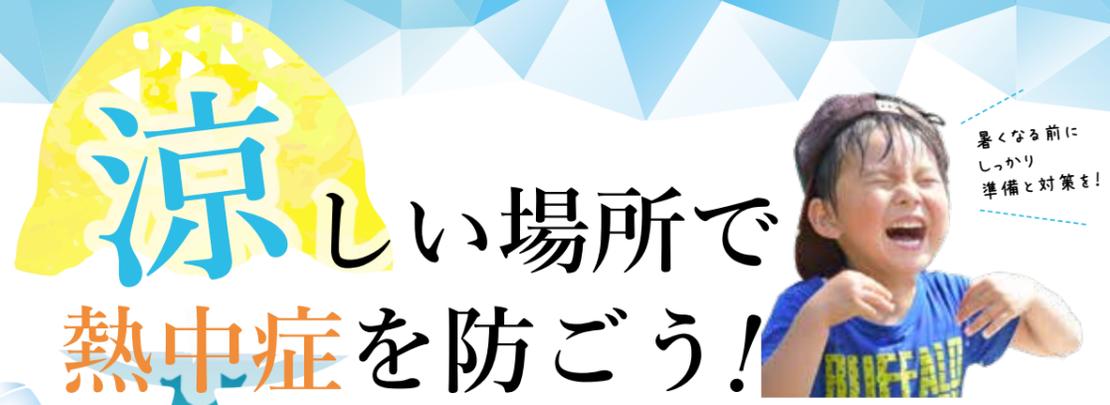
問合せ ☎0280-81-1340



長田小設置風景
(平成30年9月)

町内全小中学校にミストシャワーを配布 霧のカーテンで子ども達も楽しくクールダウン!

境町では、全小中学校のすべての教室にエアコンを完備しています。さらに、児童・生徒の熱中症対策として、昨年9月、町内すべての小中学校に移動式のミストシャワーの配布(各学校に2～4機ずつ)を行いました。本格的な設置は、猛暑日に入ってからになりますが、今年度は、すでに運動会や体育の授業時に活用されています。



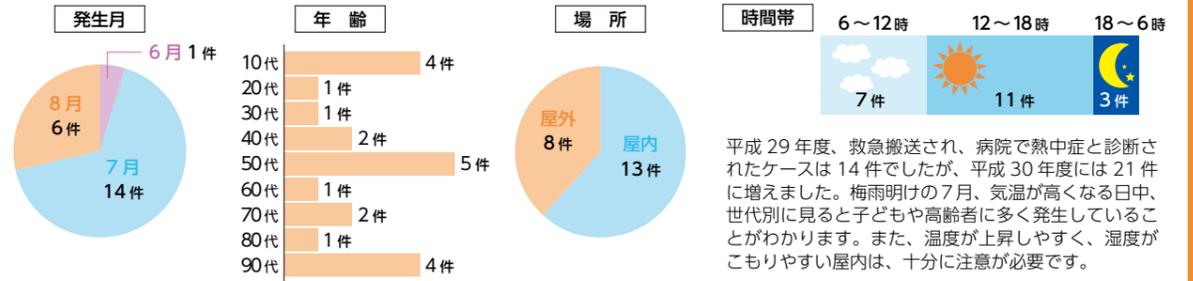
暑くなる前に
しっかり
準備と対策を!

涼しい場所で 熱中症を防ごう!

昨年は、7月に埼玉県熊谷市で観測史上最高の41.1度を記録するなど、歴史的な猛暑日が続きました。今年は冷夏が予想されていますが、町でもすでに3件の熱中症報告があります。熱中症予防には、暑さを避けること、こまめに水分・塩分を補給することがもっとも大切です。猛暑に負けず、夏を楽しく過ごしましょう!

境町平成30年度 熱中症発生状況

茨城西南地方広域市町村圏事務組合調べ
(令和元年6月20日時点)



正しい知識で適切な予防を!

熱中症予防5つのポイント

高齢者、子どもは
とくに注意が必要です



室内では **Point.1**

涼しく過ごそう!

冷房や扇風機を使い、室温の上昇を抑えましょう。日の差し込む窓辺には、すだれ、遮光カーテン等を使い、日差しを遮って室温を上げりにくくしましょう。

外出時 **Point.2**

暑くなる日は要注意

熱中症は、暑い環境に長時間さらされることにより発症します。とくに、急に暑くなった日は、体が暑さに慣れていないため、熱中症の危険度も急上昇します。



高齢者は自覚がないのに
熱中症になる危険があります

高齢になると、暑さやのどの渇きを感じにくくなるなど、体が出しているSOS信号に気づきにくくなります。そのため、自覚のないまま熱中症にかかる危険が高くなります。



体温調節が未熟なので
子どもは熱中症にかかりやすい

子どもは、汗を出す「汗腺」など、体温を調節する働きが未熟です。また、地面の照り返しによる高い温度を大人より受けやすく、熱中症にかかりやすくなります。

外出時 **Point.3**

飲み物を持ち歩こう

室内外問わず、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分、経口補水液などを補給しましょう。外出時は、必ず飲み物を持ち歩きましょう。寝る前の水分補給も忘れずに!

外出時 **Point.4**

服装に気をつけよう

熱中症予防には、通気性がよく、吸湿、速乾機能の高い衣服がおすすめです。外出時は、日傘や帽子を活用しましょう。こまめに体温を測定し、保冷剤や冷たいタオル等で体の冷却を行いましょう。

周囲に **Point.5**

声を掛け合おう

家族や近所同士で「水分とってる?」「少し休もうか?」等、声を掛け合いましょう。周りの人の体調にも気を配ることは、熱中症にかかる人を未然に防ぐために重要です。

(活用しよう!)

熱中症予防
情報サイト
(環境省)



全国の高温
注意情報
(気象庁)



それでも…「おかしい!?!」と思ったら病院へ

町の無料開講講座を紹介する連載コーナーです。今号は「藤手芸教室」と「古典舞踊教室」を紹介します。

File.08



伝統を受け継ぐ、優雅な舞の世界
古典舞踊教室



場所 中央公民館 生徒数 10名(令和元年度) 開講日 第1・3木曜日 時間 19:00-21:00



1 講師と講座生の皆さんでの集合写真。
2 「さかい新春の集い」での披露風景。
3 生涯学習フェスティバルでの発表の様子。扇や傘など、華やかな小道具と共に行われる優雅な舞も、古典舞踊の特徴です。

参加者の声

- 平山 由美子さん
生涯学習フェスティバルでの発表を見て、魅力を感じ参加しました。古典舞踊の表現は難しいですが、月2回の教室の合間にも、覚えた踊りを自主練習することもあり、生活に張り合いを感じています。
- 塚原 のり子さん
生徒歴16年。先生からは、基本の所作をはじめ、礼儀やマナーを学べます。教室の雰囲気も良いので、長く続けることができました。踊りを覚えることは大変ですが、披露できる場があることが喜びです。
- 石川 初枝さん
姿勢もよくなりますし、大好きな着物を着る機会が増えるのでやってみたくて、生徒歴は16年に！生徒数は少ないですが、濃い内容で充実していて楽しいです。若い方にもぜひ参加してほしいです。

日々の暮らしにも役立つ
美しい所作と身のこなし



古典舞踊教室
講師 片倉 幸子 先生

3歳より母の影響で姉妹全員で舞踊を始め、65年もの間舞踊に携わり、坂東流の古典舞踊を教えています。町の講座は開講16年目になります。古典舞踊は三味線や琴の演奏に合わせて、1〜2名で踊るのが基本です。講座では、複数で踊る「群舞形式」をとっています。正しい姿勢やしなやかな動きを基本に、歌や振り付けの意味を丁寧に説明しながら教えています。舞踊と聞くと難しく思われがちですが、「踊りは丸く動く」ことを常に意識することで普段の生活でもしなやかさが育まれます。生徒さんの個人の身体能力に合わせて振り付けや配置を考へることでどなたでも踊りを楽しめるように配慮しています。初めての方でも、着物や道具は先輩方から貸与可能です。興味がある方は気軽に参加してみてください。

問合せ 中央公民館 ☎公民館 81-1340

File.07



藤編みで作る、私の好きなもの
とう
藤手芸教室



場所 シンパシーホール 生徒数 16名(令和元年度) 開講日 第1・3火曜日 時間 9:30-11:30



1 講師と講座生の皆さんでの集合写真。
2 「次は何を作ろう？」使いたいもの、飾りたいものを考えながら、相談する時間も楽しみのひとつ。
3 生涯学習フェスティバル展示部門で発表された藤作品。

参加者の声

- 相良 貞子さん
90歳ですが、認知症予防のために10年以上続けています。この教室にいれば、仲間とわいわい交流ができてとても楽しいです。先生の教え方は丁寧で個性が発揮できるように指導してくれるのでありがたいです。
- 関 八重子さん
一緒に藤手芸を習おうと友達に誘われて参加し3年目になりました。作品が出来上がった時の喜びや達成感が心地よく楽しく続けています。毎年、家族で干支の動物を藤手芸で編んで玄関に飾っています。
- 飯田 典子さん
藤手芸を始めて10年以上経ちましたが、実用的に使えるようなダストボックスや花かごを作成しています。教室の雰囲気も和気あいあいとしており、笑いが絶えない中で取り組むことができとても充実しています。

自然素材の温もりで
自宅を華やかに!



藤手芸教室
講師 倉持 次枝 先生

30年以上の藤手芸の経験を生かして、20年程前に開講しました。藤は軽くて丈夫。使い込むほど光沢のある美しい鉛色に変化していく魅力も魅力で、自然素材のぬくもりを肌で感じる事ができます。教室の特徴は、生徒さんの好きな藤作品を作れるところです。年に一度だけ講座生全員で干支にちなんだ小物を作りますが、それ以外は、実用的な小物入れから壁飾り、人形、装飾品など、自由に様々な作品を編み上げます。秋には、野外へ行き、ぶどうやクズ、あけびのつるなどを採取し、季節を感じるカゴ等の制作にも取り組んでいます。初めての方でも、簡単な小物なら2時間ほどで完成します。ご自宅を彩る手作りの藤手芸、和気あいあいとした雰囲気のある教室ですので、お気軽にご参加ください。

問合せ シンパシーホール ☎ 87-5858

「第19回 中畑清杯争奪中学校女子ソフトボール大会」を開催

第19回中畑清杯争奪中学校女子ソフトボール大会が、境特別支援学校グラウンド及び、境町大歩グラウンドにおいて2日間の日程で開催され、境一中をはじめ茨城・埼玉・千葉・福島から総勢28チームの強豪チームが連日熱戦を繰り広げ、境一中はカンナブロック第6位の成績を収めました。

横浜DeNAベイスターズの前監督の中畑清さんや、元読売ジャイアンツで活躍された模原寛己さん、アントキの猪木さん率いる偽りジャパンの芸人さんらが参加され、会場を盛り上げました。

1日目の試合終了後には、かざみしずかさんのライブやお笑い芸人のアントキの猪木さんを中心に、「偽りジャパン」の皆さんとのじゃんけん大会、各チーム選手と中畑さんの記念撮影も行われるなど、和やかな雰囲気でお交を深めました。



選手宣誓を行った境一中キャプテン 田中悠綺さん

境一中は6位と大健闘！



千間台中キャプテン 工藤 珠莉菜さん
「この優勝を期に県大会でも優勝を目指します。」

キンモクセイブロック優勝

「千間台中学校」

カンナブロック優勝

「明野中学校」

明野中キャプテン 草間 彩夏さん
「皆で声を掛け合い一つになれたことで優勝できました。」



▲中畑清さんと模原さんと偽りジャパンの皆さん（中央）、選手たち

6/3~7

第3回 ハワイ境町ウィークを実施

ハワイ州ホノルル市において、今年で3回目となる「境町ウィーク」を開催しました。当日はワイキキビーチにおいてハワイ最大級の花火大会を実施したほか、境町の特産品であるさし茶の試飲や煎餅の試食などのPRを行いました。来賓として、ハワイ州議会、ホノルル市及び市議会、在ホノルル日本国総領事館などから大勢の方をお招きし、交流を深めました。また、現地の方やハワイを訪れている観光客の方々も迫力ある花火を楽しみ、会場は大いに盛り上がりました。

同じく6月4日に、境町とホノルル市の姉妹校締結に向けて、橋本町長、倉持議長、忍田教育長はじめ教育関係者が、ホノルル市のセントラルオアフ地区にあるアリアマヌ中学校を訪問しました。今後、教師間の交流をした上で姉妹校締結し、双方の生徒による交換留学、ホームステイなど、学校間の相互交流に取り組んでいくことを確認しました。今後もハワイとの友好関係がより深まるよう取り組んでいきます。



ワイキキビーチに打ち上げられた豪華な花火を多くの方が鑑賞



「境町 DAY」の認定書を受け取る様子（写真左からタニグチ州上院議員 橋本町長、ワカ州上院議員）
アリアマヌ中学校を訪問し視察する様子

6/4

境町 DAY 記念！給食でハワイ料理を提供

平成30年9月に友好都市協定を締結したハワイ州ホノルル市で6月4日に開催される「境町 DAY」にあわせ、ハワイの麺料理をアレンジした「サイミンスープ」とハワイ風てりやきチキンの「フリフリチキン」を町内各学校給食で提供しました。友好都市のハワイの人々が普段食べている料理を提供することで、児童生徒のハワイへの興味を引き出し、外国の食生活にふれる良い機会となりました。児童からは「とても美味しい。ハワイに行けたら海に入りたい」と大好評で、給食を通してハワイを感じることができました。



【給食メニュー】黒糖パン・マーガリン・牛乳・フリフリチキン・海藻サラダ・柑橘ドレッシング・サイミンスープ・かみかみゼリー

「フリフリチキン」
フリフリチキンは、鶏肉を直火焼きしたハワイ料理でフリフリソースという甘いタレを塗りながら炎の上で直火焼きして作ります。「フリ」とは「返す、回す」という意味があり、伝統的な作り方は串にさし「フリ！」の掛け声とともに返しながらグリルします。

「サイミンスープ」
サイミンはハワイで長く愛されている麺料理です。20世紀初頭に労働者向けに作られたものとされており、日本のラーメンによく似た料理です。出汁には干しエビや鰹節、昆布を使うことで旨味が効いて、あっさりとした味わいが特徴です。

中村心美さん (國小・6年)
「サイミンスープ」は魚介の味でとても美味しかったです。ハワイの料理は初めて食べましたが、機会があればまた食べたいです。ハワイに行けたら海に入りたいです！

6/17・18

令和元年第2回境町議会定例会でアロハシャツを着用

6月17日に第2回境町議会定例会が開会し、ハワイとの友好親善を深める取り組みの一つとして、17日、18日の2日間、議員12名、町執行部約20名がアロハシャツに身を包み、涼しげな姿で議事が進行されました。議会からの提案で実施されたアロハ議会について、倉持議長は「ホノルル市との友好親善を深めるとともに、町をPRするよい機会になったのでは」と述べました。



アロハシャツ着用で行われた議会

5/29・6/1

町中をたくさんの花で彩ろう！！ 「花いっぱい運動」で2,000本の苗植え

通勤・通学者をはじめ多くの町民の皆さんにご好評をいただいている「花いっぱい運動」が実施されました。

境町婦人会、境青年会議所、境郵便局、ばんどう太郎、境町ネットワーク等連絡協議会から総勢70名の皆さんにご協力いただき、県道尾崎・境線の長井戸地内及び松岡町NTT交差点の緑地帯にマリーゴールドやサルビアなどの花約2,000本が植えられました。



仲良く花を植える子どもたち



早朝から多くの方が参加し、苗植えをしている様子

6/2

利根川沿いを軽快に走ろう！ 「親子サイクリング」

境町体育協会が主催する「第13回親子サイクリング」が行われ、親子連れをはじめとする65名の方が参加し、利根川沿いのサイクリングコースを自転車で快走しました。

当日はサイクリング日和のなか、利根川河川敷から約14km先の古河市総合公園を目指しました。参加者や子どもたちが楽しみながら、笑顔あふれるイベントとなりました。



親子でサイクリングを楽しむ参加者たち



参加者での集合写真

5/27

境古河 IC 周辺地区土地区画整理事業 起工式を開催！完成は令和3年！

境古河 IC 周辺地区土地区画整理組合（平川栄理事長）が同事業地内で起工式を行いました。事業期間は令和3年を予定しており、事業区内は同 IC の北西側用地（長井戸・蛇池・西泉田の一部）約24.6haです。今後は業務代行者の大和ハウス工業による造成工事が始まり、企業立地が本格化します。橋本町長は、「町発展のチャンスで、組合、大和ハウス、町が一体となって企業誘致を推進していきたい」と述べました。



圏央道の4車線化に向けて、インターチェンジ周辺開発と企業誘致を推進していきます。

鎮入れの様子（写真左から橋本町長、平川理事長、大和ハウス工業竹林執行役員



起工式参加者での集合写真

5/31

猿島小学校の全校児童が茶摘みを体験

猿島小学校の校外学習として、地元の石山製茶工場（石山嘉之代表）協力のもと、全校児童で茶摘み体験が行われました。「子どもたちが境町の特産品であるお茶の栽培を見学・体験することで、地域の農業や特産品に興味・関心をもってもらいたい」という思いから実施されています。

参加した猿島小学校の児童たちからは、「皆で摘むのがすごく楽しい。たくさん摘めました」といった声も聞こえ、とても楽しい雰囲気での授業になりました。11月にはお茶を味わう会で試飲も実施されます。

VOICE



猿島小6年 齊藤 萌花さん

茶摘み体験は6回目です。茶葉をいっぱい摘んで、秋にできたお茶を飲むのが楽しみです。虫は苦手ですが、これまでに何回も茶摘みをしているので、茶摘みは慣れています。

冷茶が好きで、いつも自宅でお茶を飲んでます。



摘みだての茶葉をもってハイポーズ！



楽しみながら茶摘み体験する児童たち

5/31

建築家隈研吾氏設計の2つの新施設の 記者発表を都内で実施

坂花町内に建設予定の、建築家隈研吾氏が手掛ける特産品研究施設「S-Lab（仮）」とギャラリー「S-Gallery（仮）」の2施設について都内で記者会見が行われました。研究施設では、町内産のサツマイモを用いた干し芋や町内産のブドウを使ったワインの醸造などを行い、「S-Gallery」では、晩年を境町で過ごした日本画家の齋藤實氏の作品30～50点を展示する予定です。4月にオープンしたレストラン茶蔵から徒歩数分の距離に立地予定であり、今後観光客を呼び込み、商店街を中心とした「まちなかを回遊」するような賑わい創出を目指しています。



齋藤實氏の作品を手にする隈研吾さんと橋本町長



「S-Lab」、「S-Gallery」の完成イメージ（左奥が「S-Lab」、右が「S-Gallery」）



「S-Lab」、「S-Gallery」の構想模型

6/16

リオ五輪金メダリストのアルゼンチン 女子柔道選手たちが境町へ来町！

アルゼンチン女子柔道リオデジャネイロ五輪48kg級で金メダルに輝いたパウラ・パレット選手、今年のお米選手権大会で銅メダルを獲得したカンテロ・ルシア選手、コーチのマルチネル・ラウラさんが来庁し橋本町長を表敬訪問しました。その後、境一中武道場に移動し、境一中の生徒や、力善さかい道場柔道スポーツ少年団の児童たちと乱取り（※）など柔道の練習や質疑応答、サイン会、記念植樹などで交流を深めました。町の子どもたちが、アルゼンチン代表選手と実際に交流することができ、貴重な経験となりました。

※「乱取り」…互いに自由に技を掛け合う練習方法。

VOICE



境一中2年 高橋 美月さん

今日の経験は、一生の宝物になったし、努力とやる気を絶対に忘れないようにしないとけないと感じました。中学校から柔道をはじめ、得意技は一本背負いです。パウラ選手と練習した時に、実際に組んでみて、とても強い選手なんだと実力を肌で感じました。



パウラ選手（青い道着）と乱取りをする児童ルシア選手（後方左）と乱取りで組み手を取り合う生徒



2018年リオデジャネイロ五輪柔道女子48kg級において優勝し金メダルを授与されたパウラ選手



一中正門前でアルゼンチンの代表的な樹木である「ジャカラング」を記念植樹

第19回

利根川 いかだレース

選手権 2019



新しい時代に
歴史を刻め!!



令和元年

8/25 [日]

雨天決行
荒天中止

時間 AM10:00 ~ 順次スタート

場所 さかいリバーサイドパーク
(茨城県境町利根川河川敷)

START 栗橋国道4号橋下
GOAL 境大橋手前

約10km



問合せ

〒306-0495 茨城県猿島郡境町 391-1 境町役場 境町観光協会内
「第19回 利根川いかだレース選手権実行委員会」事務局 宛
TEL 0280(81)1319 FAX 0280(87)2630
e-mail syoko@town.sakai.ibaraki.jp URL <https://ikadarace.com/>



町の人口と世帯数 ※令和元年7月1日現在の常住人口(前月比)

■総人口 24,136人 (-7) ■男性 12,214人 (-5) ■女性 11,922人 (-2) ■世帯数 8,621世帯 (+8)

■発行所/境町役場 〒306-0495 茨城県猿島郡境町 391-1 Tel.0280-81-1329 ■編集/秘書広聴課 ■発行日/令和元年7月1日
■境町ホームページ <http://www.town.sakai.ibaraki.jp/>